

① 地域の活力を育みます		
No.	重点テーマ	概要
1	地域産業の強みを伸ばし、稼ぐ力を高めます	ものづくり産業(伝統工芸を含む)、観光業、農業など地域に根付く主要産業の生産基盤や担い手の確保を支えるとともに、商品力・ブランド力の向上や国内外への販路拡大を進め、地域産業の競争力と稼ぐ力を高め、新たな雇用の創出につなげる。
2	企業の成長と新たな産業・雇用の創出を進めます	リスクリングや先端技術・デジタル技術の活用により、地域企業の経営力や生産性の向上を支えるとともに、成長産業分野の企業や多様な人材を呼び込み、新たな事業や産業、雇用が生まれる環境を整える。
3	既存の交通手段を活用し、外出しやすい環境を整えます	通院、買い物、通学、地域活動への参加などの日常的な移動手段を確保することで、高齢者、子どもなどの移動手段に制限がある人が外出しやすい環境を整える。
4	地域コミュニティのつながりを育み、多様な人の交流を広げます	交流拠点などを活用し、住民同士の交流や地域活動を支えるとともに、地域外の人材など多様な人が地域とつながる機会を広げる。 地域の担い手を育み、それぞれの経験や力を活かして地域課題を解決することで、誰もが安心して暮らし、活躍できる地域コミュニティを育てる。
② 子ども・若者の学びと成長を支えます		
No.	重点テーマ	概要
1	加賀市教育ビジョン「BE THE PLAYER」を確実に推進します	「自分で考え 動く 生み出す」学校づくり、ユニバーサルデザインの学校づくりをさらに推進する。また、放課後においても子ども主体の学びの場を広げる。 自分自身の「好き」「全力」「やってみよう」を感じる瞬間を通じて、生涯にわたって自ら学べる人材を育成する。
2	こどもと大人が共に育つ、「こどもまんなか」のまちづくりを推進します	子育て支援という枠組みを超え、こどもも大人も共に未来へ向かって成長できるまちを目指す。また、すべてのこどもが「自分の居場所がある」と実感できるよう、地域全体で「こどもまんなか」の環境づくりを推進するとともに、妊娠期から出産、子育て期にわたり、誰一人取り残すことなく、切れ目なく寄り添う子育て支援を行う。
3	若者が就職・結婚・出産等の様々なライフデザインを描けるような環境を構築します	労働分野、子育て支援分野、医療分野とも連携し、若い男女の健康づくり(プレコンセプションケア)の推進、労働及び職場環境づくりを推進し、子育て支援の環境整備に取り組むことで地域全体で若者のライフデザインの実現を後押しする。
4	産学官の連携により、若者の学びと成長を支えます	産学官連携を進め、市内企業との共同研究やインターンシップ、地域課題解決型学習などを通じて、若者が専門的な知識や技術を学び、地域や企業と関わりながら成長できる環境を整える。

③ 地域資源の価値を高めます		
No.	重点テーマ	概要
1	地域の歴史・文化資産と伝統芸能を守り、次世代へ継承します	歴史的なまち並みや建造物の保存・活用を進めるとともに、伝統文化や伝統工芸、地域の祭礼・伝統行事等の普及・継続と後継者育成を支援する。 地域の担い手とシビックプライド(地域への愛着・誇りと、その地域を良くするための当事者意識を持つこと)を育むとともに、内容を磨き上げ、国内外の観光客を呼び込む観光コンテンツとして活用することで、持続可能な形として次世代へ継承する。
2	地域拠点の特色を活かし、駅周辺を中心としたにぎわいと交流を創出します	7つの地域拠点(大聖寺・山代・片山津・動橋・作見・橋立・山中)それぞれの特色を活かしながら、加賀温泉駅をはじめとする駅周辺や駅併設施設、広場などに、休憩、飲食、交流、イベントができる場を整備する。 道路・公園等の都市施設や都市機能の充実を図り、日常的に人が集い、滞在する地域の拠点づくりを進める。
3	地域資源を磨き上げ、観光客を誘致し、地域の活性化を図ります	地域資源を活かした観光コンテンツを造成し、観光客の誘致と、地域経済の活性化を図る。 また、地産食材を使用したご当地グルメを提供することで、本市の食の魅力を磨き上げ、観光客の誘致と観光消費額の増加を図り、地域経済の活性化とともに、市民の満足度や生活の質の向上を図る。
4	体験型・高付加価値観光を推進し、インバウンド誘客と交流人口の拡大を図ります	北陸新幹線沿線や越前加賀地域の自治体と連携し、国内外への情報発信や観光コンテンツの磨き上げ、販路開拓を進める。 また、ローカルガイドの育成や伝統工芸、自然等を生かした体験型・高付加価値観光商品の造成、海外友好都市との交流を通じて、インバウンド誘客と交流人口の拡大、観光消費額の増加を図る。

④ 暮らしの安心安全を支えます		
No.	重点テーマ	概要
1	医療・介護・福祉をつなぎ、支え合えるまちを実現します	医療・介護・予防・住まい・生活支援の5つの要素が地域の特徴と合わせて提供できる仕組みを構築するために、相談・支援体制を整える。 一人ひとりの状況に応じた切れ目のない支援により、高齢者、障がい者、こどもなど全ての市民が地域で自分らしく暮らし続けられる環境をつくる。
2	健康づくりを支え、健やかに暮らせるまちを実現します	生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病の発症予防と重症化予防をすることで、自分の健康を確認、維持、見直す機会を提供し、市民の健康づくりを応援する。 また、行政、民間企業、各種団体、大学等がそれぞれの強みを活かしてつながり、市民と一体となって「食」と「運動」を通じた健康づくりを推進する。
3	暮らしの安全対策を充実させ、安心安全な生活環境を実現します	交通事故や犯罪、住宅火災、有害鳥獣による被害など、日常生活における様々なりスクへの対策を進める。 関係機関や地域との連携、啓発や環境整備を通じて被害を未然に防ぎ、市民の安全な暮らしを守る。
4	防災・消防・救急を強化し、災害に強いまちを実現します	備蓄や住宅の耐震化、防災教育、自助・共助・公助の取組を進めるとともに、消防・救急車両、資機材及び消防施設等の計画的な更新・整備、デジタル技術の活用を進める。 平常時から災害に備え、発生時に迅速かつ的確に対応できる体制を整える。
5	生活インフラを適切に維持し、安全で快適な暮らしを支えます	道路や橋梁、上下水道などの生活インフラを計画的に点検・維持・更新するとともに、安定したごみ処理体制を確保する。 人口減少や施設の老朽化にも対応し、将来にわたり安全で快適な暮らしを支える生活基盤を整える。
6	公共施設・公共空間を再編・活用し、持続可能な暮らしを支えます	公共施設の集約化・複合化・長寿命化を進めるとともに、公園や未利用施設、公共空間の多様な活用を図る。 人口減少や施設の老朽化、住民ニーズの変化に対応した施設配置と有効活用を進め、地域の交流や活動につながる価値ある空間をつくる。